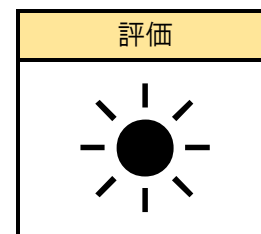


第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標1 地域福祉の担い手の育成―「人」の育成―】

【施策の方向性1 地域福祉の意識の醸成】



☀: 90%以上達成した
 ☀: 70%以上達成した
 ☀: 達成していない

《指標1》

地域福祉推進シンポジウムの開催回数
(独自設定)

担当: 地域ふくし課、社会福祉協議会

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	回				1	1	1	1	1
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	回	1	1	1	1				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など

直接の来場者数は昨年度の128人と比べて161人と増加したが、ライブ配信及び令和4年度から開始した見逃し配信の視聴者数はライブ配信86人、見逃し配信110人と昨年度の半分以下となった。7年度のシンポジウムは8年度から実施する重層的支援体制整備事業をテーマにして、日本福祉大学の川島ゆり子氏の基調講演では全体像を分かりやすくお話いただき、トークセッションでは江南市長と社協会長によるトップ対談を行い、江南市の現状や課題、包括的支援体制の構築に向けて何が必要か等を伝えることができたが、テーマ自体の専門性が強く、一般的に興味をそそるテーマでは無かったため、関心を持つ人が限定的であったと考えられる。地域福祉の根幹となる地域共生社会の実現に向けた意識醸成のため、テーマ自体は適切であったが、意識の薄い地域住民に関心を持ってもらうような工夫が必要であった。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

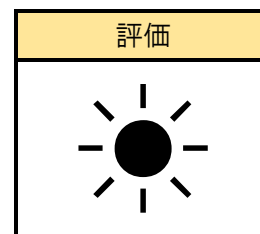
今後の取組みの展開・改善内容など

引き続き集客力の大きい「ふくし江南ふれあいまつり」と連携して開催する。参加方法として、来場者数と同等の参加者が見込める見逃し配信を継続するが、ライブ配信についてはその効果を検証する必要がある。テーマの選定については、地域福祉の主役である地域の住民が身近に感じる話題や、関心の高いタイムリーな話題を軸に考え、地域福祉の分野に落とし込んでいくことで、情報を知ることや、自分たちで出来ることを考える機会を提供し、意識の醸成に繋げていく。また、より効果的な周知の方法について、チラシ・ポスターの配布とともに、インターネットを始めとしたデジタル技術の活用などを検討していく。

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標1 地域福祉の担い手の育成―「人」の育成―】

【施策の方向性1 地域福祉の意識の醸成】



☀: 90%以上達成した
☀: 70%以上達成した
☹: 達成していない

《指標2》	地域福祉懇談会の開催回数 (独自設定)
-------	------------------------

担当: 地域ふくし課

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	回				1	1	1	1	1
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	回	0	1	2	1				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
令和7年度は「生活の足(移動手段)」を統一のテーマとして、市内5カ所で開催した。参加人数は全体で117名となり、5年度の110名、6年度の1回目109名及び2回目の80名をいずれも上回る結果となった。各地域での移動手段について、現状の移動方法と課題に加えて、今後起こりうる課題とその原因について、未来志向で話し合うことが出来たため、参加者にとっては将来を見据えて、必要となる社会資源や今から出来ることなどを考える機会となった。地域活動のキーパーソンとなり得る区長・町総代、民生委員・児童委員や子ども会、老人クラブなど多くの方に参加依頼を行ったが、全地域において民生委員・児童委員や高齢者福祉関係の参加者が多くなったため、幅広い年代層からの意見抽出が出来なかった。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

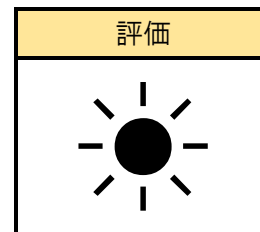
今後の取組みの展開・改善内容など
市内の5カ所の地域において、市が抱える課題を共通のテーマとして開催することで、参加者がそれぞれの地域特性を共通認識として話し合うことにより、地域課題への関心を高めるとともに、解決に向けた地域住民の役割について考える機会となる。地域の今後の高齢化の展望を見据えた課題の設定や、平日の日中開催により、参加者に高齢者世代が多くなってしまうが、子育て世代や若者世代、現役世代や女性目線など、多様な意見を集約するための方法について、検討を重ねる必要がある。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標1 地域福祉の担い手の育成―「人」の育成―】

【施策の方向性1 地域福祉の意識の醸成】



☀: 90%以上達成した
☀: 70%以上達成した
☹: 達成していない

《指標3》	ふくし江南ふれあいまつり開催回数 (独自設定)
-------	----------------------------

担当: 社会福祉協議会

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	回				1	1	1	1	1
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	回	1	1	1	1				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
第16回の開催では2,600人の来場者があり、例年と変わらない程度の規模であった。開催前には社協ボランティアサポーター(ICT広報啓発グループ)の作成によるイベント告知動画の配信、開催後は当日取材や撮影した素材を編集した動画を配信した。昨年度の課題であった新規ブース出展の制限について、介護保険課による「認知症理解」を目的にした啓発ブース、江南市SDGsパートナーの企業等が取り組むSDGsの啓発ブースを新たに設けることができた。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

今後の取組みの展開・改善内容など
引き続き、会場のキャパシティ等に沿った開催規模を維持するとともに、当日企画や出展ブースの検討、ICTを活用した広報活動を通じて、イベントの魅力を高め、「ふくし」に触れる機会を創出していく。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標1 地域福祉の担い手の育成—「人」の育成—】

【施策の方向性2 地域福祉活動の担い手の育成】

評価	
〈団体数〉	〈人数〉
	

☀ : 90%以上達成した
☀ : 70%以上達成した
☹ : 達成していない

≪指標1≫	社会福祉関係の団体数、参加人数 (総合計画個別目標)
-------	-------------------------------

担当:地域ふくし課

1 目標と実績

〈団体数〉	計画	第1次		第2次					
目標	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	団体				13	13	12	12	12
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	団体	12	14	13	13				

〈人数〉	計画	第1次		第2次					
目標	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人				220	195	170	170	170
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人	164	268	232	240				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
身近な地域福祉活動の担い手として、各社会福祉関係の団体に対して支援を行い、団体数を維持するとともに、参加人数は目標値を上回った。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

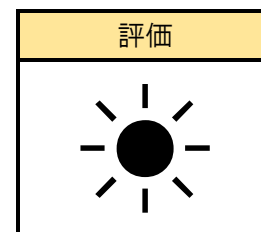
今後の取組みの展開・改善内容など
団体の地域福祉活動に対する支援を継続するとともに、安定した地域福祉活動を継続して行けるように、新たな構成員を獲得して、参加人数を増加させるため、活動の周知・啓発に対する支援を行なっていく。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標1 地域福祉の担い手の育成―「人」の育成―】

【施策の方向性2 地域福祉活動の担い手の育成】



☀: 90%以上達成した
☀: 70%以上達成した
☹: 達成していない

《指標2》	ボランティア養成講座参加者数 (独自設定)
-------	--------------------------

担当: 社会福祉協議会

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人				130	140	150	160	168
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人	84	101	120	183				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
昨年度に引き続き、ボランティアサポーター制度として、①ボランティア啓発・情報共有グループ、②こども食堂グループ、③お困りスマホ相談グループ、④ICT広報啓発グループごとの講座を開催し、参加人数の増加と活動参加につながっている。一方で他のボランティア養成講座の受講者の減少はあるが、2次元コードからの申込方法を活用し、受講へのハードルを下げることで参加者数が従来より増えた講座もあった。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

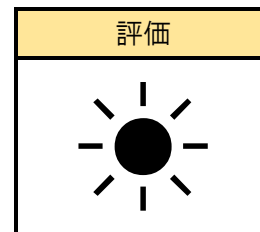
今後の取組みの展開・改善内容など
引き続き、社協ボランティアサポーターはICTを活用した広報啓発、受講後のLINEのオープンチャットを活用し、受講のハードルを下げつつ、受講後の活動へつなぐ工夫をこれからも継続していく。受講形式の講座は内容が伝わるチャレンジ作りを作成し、興味関心が高まるよう広報活動を行っていく。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標1 地域福祉の担い手の育成―「人」の育成―】

【施策の方向性2 地域福祉活動の担い手の育成】



☀: 90%以上達成した
☀: 70%以上達成した
☹: 達成していない

《指標3》	ボランティア保険加入者数 (独自設定)
-------	------------------------

担当: 社会福祉協議会

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人				2,300	2,400	2,500	2,600	2,700
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人	2,113	2,107	2,188	2,233				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
ボランティア保険加入者数は年々微増しているが、新規のボランティア活動者の増加分と高齢化等によりボランティア活動を辞めた方の差し引きした数が増加していると想定される。増加する背景や理由が明確となる事案は7年度はなかった(6年度は能登半島地震の大規模災害の保険加入者の増加等)。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

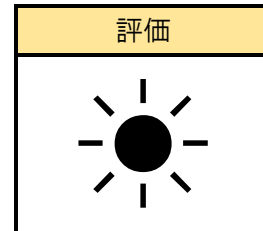
今後の取組みの展開・改善内容など
昨年度と同様、ボランティア保険の広報活動により、ボランティア活動中の補償による安心・安全を確保することで、新たにボランティア活動を始める(加入する)きっかけとなるよう、進めていく。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標2 活動団体が活動をしやすい環境づくり―「組織」への支援―】

【施策の方向性1 地域福祉活動の推進】



☀: 90%以上達成した
 ☀: 70%以上達成した
 ☹: 達成していない

《指標1》	生活支援コーディネーターの支援を受けて運営されている団体数（独自設定）
-------	-------------------------------------

担当: 社会福祉協議会

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	団体				65	67 90	69 94	71 98	72 100
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	団体	47	53	58	83				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
生活支援コーディネーターが支援を行った団体として、ふれあい・いきいきサロン、地域で自主運営している運動教室、買い物支援団体、地区老人クラブ(一部)等が挙げられる。団体支援だけでなく関係機関等が協働して行う事業(認知症カフェ等)のサポートも行った。また、江南市地域交流センターやSDGs官民共創プラットフォームとの連携・協働により、企業へのサポートが新たな取り組みとして広がった。一方で、区・町内会において関わりの少ない、できていない地域があり、掘り起こしが進んでいない状況もある。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

今後の取組みの展開・改善内容など
今後も市民からの相談や地域福祉懇談会、地域ケア会議等での話し合いを基に協議の場を展開するとともに、「住民参画・官民連携」を新たな柱とし、江南市地域交流センターやSDGs官民共創プラットフォームと連携・協働し、市民活動団体やこうなんSDGsパートナー、企業等とのまちづくりが推進されるよう支援を行っていく。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標2 活動団体が活動をしやすい環境づくり―「組織」への支援―】

【施策の方向性2 ボランティア団体等への活動支援】

評価	
〈団体数〉	〈人数〉
	

☀ : 90%以上達成した
☀ : 70%以上達成した
☹ : 達成していない

《指標1》	社会福祉関係の団体数、参加人数 (総合計画個別目標)
-------	-------------------------------

担当:地域ふくし課

1 目標と実績

〈団体数〉	計画	第1次		第2次					
目標	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	団体				13	13	12	12	12
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	団体	12	14	13	13				

〈人数〉	計画	第1次		第2次					
目標	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人				220	195	170	170	170
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人	164	268	232	240				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
身近な地域福祉活動の担い手として、各社会福祉関係の団体に対して支援を行い、団体数を維持するとともに、参加人数は目標値を上回った。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

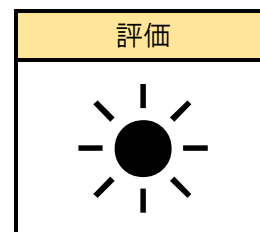
今後の取組みの展開・改善内容など
団体の地域福祉活動に対する支援を継続するとともに、安定した地域福祉活動を継続して行けるように、新たな構成員を獲得して、参加人数を増加させるため、活動の周知・啓発に対する支援を行なっていく。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標2 活動団体が活動をしやすい環境づくり―「組織」への支援―】

【施策の方向性2 ボランティア団体等への活動支援】



☀：90%以上達成した
☀：70%以上達成した
☹：達成していない

《指標2》	民生委員が相談を受け、支援した件数 (総合計画個別目標)
-------	---------------------------------

担当：地域ふくし課

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件				2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件	2,507	2,789	2,738	2,773				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
地域の身近な相談役である民生委員と連携して、市民の個々の相談支援や生活課題の解決に取り組んだ。支援件数は概ね目標値を達成したが、市民に対して民生委員の周知が十分に進んでいないことに加えて、自身の役割について戸惑いを持っている民生委員もいるため、地区によって支援に差異が生じることがある。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

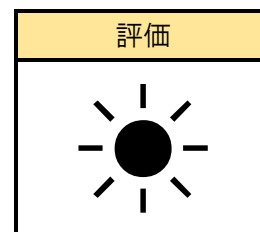
今後の取組みの展開・改善内容など
引き続き民生委員の活動の支援を継続するとともに、民生委員協議会と連携して、支援の質の維持・向上を目指すとともに、民生委員を取り巻く課題を共有しながら解決に向けて協議を続けていく。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標2 活動団体が活動をしやすい環境づくり―「組織」への支援―】

【施策の方向性3 交流の場づくり】



☀: 90%以上達成した
 ☀: 70%以上達成した
 ☹: 達成していない

《指標1》	サロン等の地域の居場所の数 (独自設定)
-------	-------------------------

担当: 社会福祉協議会

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	か所				37	38	39	40	40
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	か所	34	35	34	36				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
7年度は新規開設のサロンが3団体あり、1団体が解散となった。新規開設の内、1団体は乳幼児の子育て中の母親がリフレッシュや子育てに関する情報交換を目的としたサロンを立ち上げた。新規開設のサポートをする中で、地域内での調整、広報活動等に時間はかかるが、活動を継続していくために地道なサポートが必要である。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

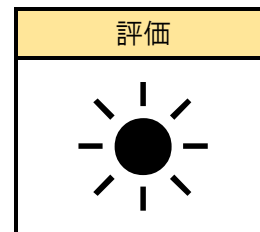
今後の取組みの展開・改善内容など
サロンだけでなく、居場所づくりの機能を有する取組みは市内に多数あるため、地域資源として引き続き把握していく。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標2 活動団体が活動をしやすい環境づくり―「組織」への支援―】

【施策の方向性4 地域における防犯・防災体制の強化】



☀: 90%以上達成した
☂: 70%以上達成した
☁: 達成していない

《指標1》

民生委員・児童委員の年間訪問・連絡活動件数
(独自設定)

担当: 地域ふくし課

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件				4,600	4,450	4,300	4,150	3,950
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件	3,597	4,732	4,153	4,387				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など

生活課題を抱える方の自宅を訪問し、課題解決に向けた相談を行うとともに、適切な関係機関へ支援を繋げる民生委員の活動を支援し、訪問件数は昨年度から回復したが、目標を下回る結果となった。複雑な課題を抱えたケースについては、既存の関係機関の連携が不十分で、包括的に受け止めることが出来なかった。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

今後の取組みの展開・改善内容など

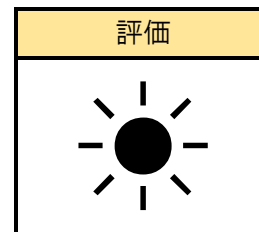
引き続き民生委員の訪問活動の支援を継続するとともに、多分野にわたって課題を抱えるケースの受け皿となる包括的な相談支援体制の整備に努め、民生委員協議会と連携しながら各民生委員への周知を行っていく。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標3 支援が必要な方を支える公的体制や制度の整備―「体制・制度」の整備―】

【施策の方向性1 包括的な支援体制の整備】



☀: 90%以上達成した
 ☀: 70%以上達成した
 ☀: 達成していない

《指標1》

高齢者人口に占める健康を保って暮らしている高齢者の割合（総合計画個別目標）

担当: 介護保険課

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	%				84.4	84.4	84.4	86.6	86.6
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	%	84.4	83.9	83.4	83.0				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など

令和7年度には高齢化率が28.2%まで上昇し、約3.5人に1人が高齢者となっており、高齢者世帯や一人暮らし世帯の増加、認知症によって家族での介護が困難になるケースの増加などで、支援や見守りを必要とする高齢者が増加することが見込まれる。
 介護が必要となっても、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことができるよう住まい・医療・介護予防・生活支援を一体的に提供できる体制づくりや地域のつながり、支え合い活動を促進し、地域包括ケアシステムの深化・推進に努める必要がある。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

今後の取組みの展開・改善内容など

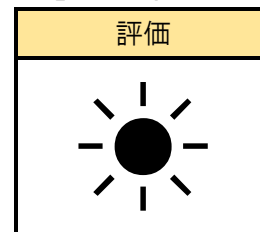
高齢者が元気で充実した生活ができるよう、高齢者向け運動教室の推進や、多様な主体による介護予防・生活支援サービスを提供する。また、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して生活できるように地域包括ケアシステムの深化・推進を図りながら、迅速で的確な介護サービスが受けられるような体制づくりに努める。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標3 支援が必要な方を支える公的体制や制度の整備―「体制・制度」の整備―】

【施策の方向性1 包括的な支援体制の整備】



☀: 90%以上達成した
☀: 70%以上達成した
☹: 達成していない

《指標2》

基幹相談支援センターの相談件数
(総合計画個別目標)

担当: 地域ふくし課

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件				1,500	1,575	1,600	1,625	1,650
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件	1,376	1,347	1,309	1,458				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など

障害者世帯を取り巻く生活課題に対し、障害者福祉の関係機関と連携して相談支援を行った。相談件数は昨年度に比べて増加し、他分野にわたる複合的な課題を抱えた相談も増えており、障害者福祉の分野だけでは解決し切れない相談ケースが増えている。

3 今後の取組み方針

今後の取組みの展開・改善内容など

障害者の総合的な相談窓口としての周知を継続して行うとともに、他分野にわたる複合的な課題を抱えている世帯への支援を適切に行うため、他機関との連携を強化することにより、包括的な相談支援体制の整備に努めていく。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標3 支援が必要な方を支える公的体制や制度の整備―「体制・制度」の整備―】

【施策の方向性1 包括的な支援体制の整備】



☆：90%以上達成した
 ▲：70%以上達成した
 ↓：達成していない

《指標3》	家庭児童相談等件数 (独自設定)
-------	---------------------

担当：子育て支援課

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件				2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件	2,736	3,526	2,856	2,017				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
相談件数の減少理由としては相談件数のカウント方法を見直したことが大きな要因の1つで、R6までは情報提供等の内容ごとに相談件数1件としていたものを、各種情報提供はまとめて相談件数1件としたことによるものです。また、共働き家庭が増えたことに伴い、保育園等へ低年齢から預ける家庭が増えており、育児等の相談が所属先でできるようになっていることも相談件数減少の要因と考えられます。 一方で、支援センター利用者の延べ人数は増加しており、入園前の子育て家庭のリピーターが増えていると考えられ、居場所として必要とされていると考えられます。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

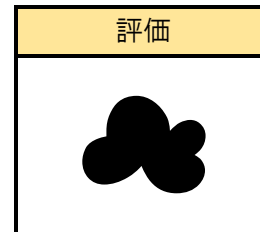
今後の取組みの展開・改善内容など
子どもの健全育成及び子育て家庭の問題や不安の解消について身近な場所で相談できるよう、子育て支援センター事業を継続します。また、子育て支援センターが入園前の親子の居場所として、親子が孤立することなく過ごすことができる場所として利用しやすい場になるようイベントや行事を実施していきます。相談先としては子育てに関する総合的な相談窓口としてこども家庭センターを周知していきます。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標3 支援が必要な方を支える公的体制や制度の整備―「体制・制度」の整備―】

【施策の方向性2 様々な課題を抱える人への支援】



☀: 90%以上達成した
☁: 70%以上達成した
☔: 達成していない

《指標1》

保護の廃止世帯数(死亡を除く)
(総合計画個別目標)

担当: ふくし支援課

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件				31	32	33	34	35
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件	26	30	40	27				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など

令和7年度の実績値は27件となり、前年度40件から13件減少し、目標値31件を達成していない状況である。このうち、他法他施策の利用による廃止は5件、就労収入の増加による廃止は4件となっており、全体の33.3%を占めた。前年度は35%であったため、ほぼ横ばいの推移であった。

生活困窮者の中には、ひきこもり、傷病・障害、多重債務、8050問題、ホームレスなどの複合的な課題を抱える世帯が増加している。生活保護からの自立を図るためには、単純な就労支援だけでは対応できない困難なケースが多く、個々の相談援助技術の向上と関係機関との一層の連携強化が求められる。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

今後の取組みの展開・改善内容など

就労可能な方に対しては、継続的に就労相談や求人開拓、ハローワークとの連携強化を図り、就労に至るまでの過程を計画的かつ丁寧に支援する。また、保護の補足性の原理に基づき、年金受給資格の確認や他法他施策の活用をより積極的に進め、適切な制度につなげることで生活保護からの早期自立を促進する。

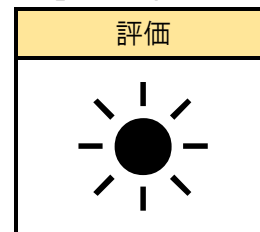
複合的な課題を抱える困難なケースに対しては、民生委員、医療機関、地域包括支援センター、障害福祉サービス事業者など関係機関で情報共有や意見交換が随時可能な体制を強化し、個々のケースに応じたアプローチを実施する。同時に、相談援助技術の向上に向けた研修や事例検討会を定期的の実施し、職員の専門性を高めしていく。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標3 支援が必要な方を支える公的体制や制度の整備―「体制・制度」の整備―】

【施策の方向性3 福祉サービスの利用支援】



☀: 90%以上達成した
 ☀: 70%以上達成した
 ☹: 達成していない

《指標1》	障害福祉サービスの利用人数 (独自設定)
-------	-------------------------

担当: ふくし支援課

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人				755	775 893	795 966	815 1,045	833 1,131
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人	621	670	742	825				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
実績値が増えていることから、必要な人が必要な福祉サービスを受けられている。引き続き、HP等により周知を行い、社会福祉協議会とも連携し、必要な人に必要な福祉サービスを提供できるようにする。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

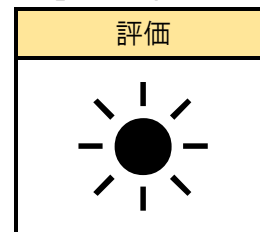
今後の取組みの展開・改善内容など
今後も、福祉サービスを利用する人は増えることが見込まれるため、サービス提供の手続きに係る体制の整備に努める。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標3 支援が必要な方を支える公的体制や制度の整備―「体制・制度」の整備―】

【施策の方向性3 福祉サービスの利用支援】



☀: 90%以上達成した
 ☀: 70%以上達成した
 ☹: 達成していない

《指標2》

通所支援サービス(児童発達支援など)の利用人数
 (総合計画個別目標)

担当: ふくし支援課

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人				660	690	723	776	830
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	人	445	523	632	686				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など

実績値が増えていることから、必要な人が必要な福祉サービスを受けられている。引き続き、HP等により周知を行い、社会福祉協議会とも連携し、必要な人に必要な福祉サービスを提供できるようにする。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

今後の取組みの展開・改善内容など

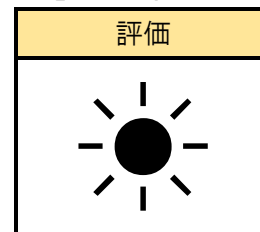
今後も、福祉サービスを利用する人は増えることが見込まれるため、サービス提供の手続きに係る体制の整備に努める。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標3 支援が必要な方を支える公的体制や制度の整備―「体制・制度」の整備―】

【施策の方向性4 権利擁護・成年後見制度の利用促進】



☀: 90%以上達成した
☀: 70%以上達成した
☹: 達成していない

《指標1》	成年後見制度利用支援件数 (総合計画個別目標)
-------	----------------------------

担当: 地域ふくし課

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件				11	12 21	13 23	14 25	15 27
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	件	4	7	10	19				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
判断能力が十分でない人が自立した生活を送れるようにサービスの利用支援を行った。利用実績は年々増加傾向にあり、7年度も目標値を上回ったため、8年度以降の目標値を上方修正する。今後も支援を必要とする人は増加し続けることが見込まれるため、成年後見センターや地域包括支援センター等と連携して速やかに利用支援に繋げていく必要がある。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

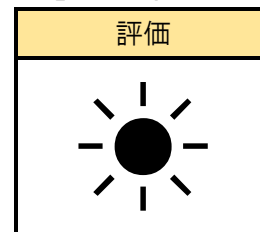
今後の取組みの展開・改善内容など
支援が必要な状態になった人が速やかに制度を利用することが出来るように、社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携して、医療機関や介護保険事業所等への制度の周知を継続して行う。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

第2次 江南市地域福祉(活動)計画 進捗管理シート

【基本目標3 支援が必要な方を支える公的体制や制度の整備―「体制・制度」の整備―】

【施策の方向性5 再犯防止の推進】



☀: 90%以上達成した
 ☀: 70%以上達成した
 ☹: 達成していない

《指標1》	再犯者率 (独自設定)
-------	----------------

担当: 地域ふくし課

1 目標と実績

目標	計画	第1次		第2次					
	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	%				41.1	39.5	37.9	36.3	35.0
実績	単位	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	%	45.9	46.2	42.9	40.0				

2 現状分析と課題

現状分析・行政や社協の取組みの課題など
数値目標としている再犯率は40.0%と目標値を達成しているが、母数となっている刑法犯検挙人数は令和6年の212人に比べて令和7年は280人と大幅に増えている。犯罪を犯した人の出所・出院後の生活課題を解消するため、更生保護部門や福祉系サービスとの連携に努め、再犯者率を抑えることが出来ているが、そもそも犯罪を犯さない、犯させない土壌づくりのために、警察や他の防犯部門と連携した地域への働きかけが必要となっている。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載

3 今後の取組み方針

今後の取組みの展開・改善内容など
引き続き更生保護部門や福祉系サービスとの連携強化に努め、犯罪を犯した人の出所後・出院後の生活を個別に支援するとともに、地域住民に対し、再犯防止や犯罪を犯した人の社会復帰支援の重要性についての理解促進を図る。また、警察や他の防犯部門と連携し、犯罪が起きにくい土壌をつくるために、地域での声掛けや見守りの強化を促進するための啓発を行う。

※ 指標における行政・社協の取組みを踏まえて記載